

【定期大会】

2024 年度 定期大会速報

太田 弘*・浅野 普一**

概要

2024 年度の日本地図学会定期大会は、8 月 24・25 日（加えて巡検を 8 月 26 日に実施）の日程で、日本大学経済学部 7 号館を会場として行われた。その報告については次号に掲載予定だが、本号では速報的にプログラムの概要を以下のとおり掲載する（発表者氏名が併記されている場合、*は登壇者）。



写真 1 会場となった日本大学経済学部

プログラム

8 月 24 日（土）

一般発表

《旧版地形図・地図史・主題図》第 1 セッション

O-1 今昔マップの補完方法の検討

栗山 絵理*（東京学芸大学附属高校）、山本 将大*（東京都立大学・院/株式会社 MIERUNE）、岡本 耕平（愛知大学）、小口 高（東京大学）、大西 宏治（富山大学）、齋藤 敦（埼玉県立深谷高校）、鶴岡 謙一（東京大学）、山内 啓之（立命館大学）、若林 芳樹（東京都立大学）

O-2 19 世紀イギリスの官製地図事情、細井 将右

O-3 統計地図のルーツを辿る（第三報）—初期主題図

発達の背景—、鈴木 厚志（立正大学）

O-4 日本におけるインチ海図の終焉とメトリック海図

の始まり、菊地 眞一（元海洋情報部）

O-5 明治初期における外務省及び海軍水路部のアルゴ

ノート島の認識について、齋藤 康平（内閣官房）

O-6 伊能図下図について、星埜 由尚*（名誉会員）、鈴木 純子（名誉会員）、菱山 剛秀（元国土地理院）

特別講演

SL-01 「長久保赤水の赤水図」

海田 俊一

講演者プロフィール：医師、日本地図学会会員、長久保赤水顕彰会会員、国際古地図研究会会員。主な著書『World Maps Published in Tokugawa Japan - An Illustrated Catalog』2022 年 3 月、『図説 総覧 江戸時代に刊行された世界地図』2019 年 11 月、『流宣図と赤水図 - 江戸時代のベストセラー日本地図』2017 年 10 月（いずれもアルス・メディカより出版）。



写真 2 特別講演を行った海田 俊一氏

講演後、特別講演に関連した海田コレクションの赤水図を中心にした我が国の近世の世界図を展示した「長久保赤水の地図遺産」と題した特別地図展を開催した。



写真 3 コレクションを説明する海田 俊一氏

地図展 2024

地図展 2024 に展示されている地図等に関する解

説・紹介（後述）

ワークショップ

「赤水図を利用した地理授業」

主管：長久保赤水図専門部会（卜部）

ワークショップ

WS-01 ハザードマップでナビゲーション

主管：ナビゲーション専門部会・防災専門部会

懇親会

懇親会は同日 24 日午後 6 時より日本大学の地下食堂でコロナ禍を経て東京では 5 年ぶりに開催され久々のリアルでの懇親会の開催で交流を深めた。35 名の参加。



写真 4 懇親会の乾杯の挨拶をする太田 守重会員

8 月 25 日（日）

一般発表

《地図作成 1・都市地図・地図と住居表示》第 2 セッション

O-7 情報技術の進展に伴う災害地理空間情報の提供手法の変遷、佐藤 潤（国際建設技術協会）

O-8 ドローンを用いたロッククライミング用立体地図の作成、田畑 天（日本大・学）・田中 圭*（日本大）

O-9 地番を用いた住所決定方法の考察、和田 陽一（朝日航洋株式会社）

O-10 福岡県糸島市における住居表示の概況に関する報告、斧澤 英城（糸島市役所/近畿大学通信教育部法学部）

O-11 横浜市中心部に立地する施設の機能レベルからみた都市構造、大石 治憲（日本大・院生）

O-12 小さな村からはじめる森林経営管理制度～航空レーザーデータを活用した対象森林の抽出～ 飯嶋

郁雄（売木村地域林政アドバイザー）、丸山 智康（グーグル合同会社）

《地図作成 2・地図利用・地図教育》第 3 セッション

O-13 ディープラーニングを用いた DEM データからの等高線自動図化、西井 康郎（国土地理院）

O-14 陰陽図による地球の地形、秋山 幸秀（朝日航洋株式会社）

O-15 コラージュにより地図表現の違いを認識させる作品「kaleidomap」の制作、山口 温大*・天野 克敏・濱津 すみれ・飯田ジュリエット 柚実・渡邊 英徳（東京大学大学院情報学環・学際情報学府）

O-16 デジタル現地調査ツールのこれまでとこれから、丸山 智康（グーグル合同会社）

O-17 吉田初三郎・作「神奈川県鳥瞰図」の構図を CG で再現する、新井田 秀一（神奈川県立生命の星・地球博物館）、武田 周一郎（神奈川県立歴史博物館）

O-18 学校教科書における「正距方位図法」と「航空図」との整合性について、太田 弘（フェリス女学院大学）



写真 5 発表後の関連地図を見る参加者

招待講演

SL-02 「地図に残してはならない仕事」

小沢 晴司（宮城大学）

講演者プロフィール：北海道で林学、造園学を学び 1986 年環境庁（現環境省）入庁、国立公園レンジャーとして内外の国立公園等勤務。2011 年の東日本大震災の翌 2012 年から 8 年間、福島での除染、中間貯蔵施設等業務責任者の一人として現地に駐在、2020 年 7 月退職後、同 8 月より宮城大学事業

* 常任委員，企画・集会委員長，フェリス女学院大学（非）
** 常任委員，海上保安庁 海洋情報部